

第613回 定期演奏会

The 613th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

小泉和裕が描くベートーヴェンの芸術
熟練した巨匠が究める楽聖の真髄!

指揮 **小泉 和裕**
Conductor : Kazuhiro KOIZUMI



©Ivan Malý

ベートーヴェン：序曲「レオノーレ」第3番op.72b
ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調op.36
ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調op.92

Beethoven : "Leonore" overture No.3 op.72b
Beethoven : Symphony No.2 in D major op.36
Beethoven : Symphony No.7 in A major op.92

京都市交響楽団

2017 **6/23** 金 **京都コンサートホール**
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分
午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, June 23, 2017 / 7:00PM Kyoto Concert Hall

※本公演ではプレトークを開催いたしません。どうぞご了承ください。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2017年6月16日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- (24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>)
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード315-343
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード51711



©伊藤菜々子

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団

第613回定期演奏会

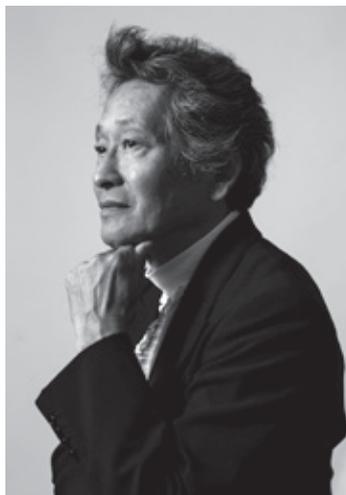
九州響及び名古屋フィルの音楽監督を務めるほか、日本を代表する指揮者として数々のオーケストラで重要なポストを歴任する、京都出身の名指揮者・小泉和裕が2年ぶりに京響定期へ客演します。今回は、楽聖と呼ばれるベートーヴェンの初期と中期の2つの交響曲にあらためて真正面から向き合い、長い時を経て愛され続ける、偉大な作曲家の傑作に潜む真の魅力に迫ります。

The 613th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮

小泉 和裕

Conductor : Kazuhiro KOIZUMI



©Takayuki Imai

京都生まれ。1969年東京芸術大学指揮科に入学、山田一雄氏に師事。1970年第2回民音指揮者コンクール第1位受賞。1972年7月、新日本フィル創立に際し、指揮者として参加。同年ベルリンのホッホシューレに入学し、ラーベンシュタイン教授にオペラ指揮法を師事。1973年夏、ボストンのタンブルウッド音楽祭に参加し研鑽を積む。1973年、第3回カラヤン国際指揮者コンクールに第1位入賞。その後ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビューを飾った。1975年～1979年、新日本フィル音楽監督を務める傍ら、1975年ベルリン・フィル定期演奏会に登場、1976年フランス国立放送管を指揮しルーベンシュタイン、ロストロポーヴィチとも協演、同年ザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルを指揮、その後もミュンヘン・フィル、バイエルン放送響等、ヨーロッパ各地において精力的な指揮活動を行った。また、アメリカにおいても、1978年ラヴィニア音楽祭でシカゴ交響楽団を指揮し大成功を収めた後、1980年シカゴ響定期公演に登場し注目を集めた。その他、ボストン響、デトロイト響、シンシナティ響、トロント響、モントリオール響などにも客演。1983年～1989年カナダのウィニペグ響の音楽監督、1986年～1989年東京都交響楽団の指揮者を歴任。ロンドンのロイヤル・フィルには1988年より定期的に招かれ、数々の名演を残すとともにチャイコフスキーの交響曲第4、5、6番のディスクを完成させた。1989年～1996年九州交響楽団首席指揮者、1992年～1995年大阪センチュリー交響楽団首席客演指揮者、1995年～1998年東京都交響楽団首席指揮者、1998年～2008年東京都交響楽団首席客演指揮者、2003年～2008年大阪センチュリー交響楽団首席指揮者、2008年～2013年東京都交響楽団レジデント・コンダクターおよび日本センチュリー交響楽団(旧・大阪センチュリー響)音楽監督を歴任。現在、東京都交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団音楽監督、名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団特別客演指揮者。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回(2016年度)音楽クリティック・クラブ賞」本賞を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2017 4/21 金
から発売!

❖ 次回予告 ❖

2017 5/20 土
から発売!

第614回定期演奏会

広上淳一のブラームス讃 第1弾～交響曲第3番
永遠のヴィルトゥオーゾ、ズーカマンで聴くベートーヴェン

日時：2017年7月15日(土) 午後2時30分開演
2017年7月16日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール
指揮：広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー)
独奏：ピンカス・ズーカマン (ヴァイオリン)
曲目：ブラームス：大学祝典序曲Op.80
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op.61
ブラームス：交響曲第3番ハ長調Op.90

©K.Miura



©Cheryl Mazak

第615回定期演奏会

川瀬賢太郎のヴェルディ「レクイエム」
オペラを超越したドラマティックなミサ曲の最高傑作

日時：2017年8月13日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール
指揮：川瀬 賢太郎
独唱：小川 里美 (ソプラノ) 福原 寿美枝 (メソソプラノ)
藤田 卓也 (テノール) 妻屋 秀和 (バス)
合唱：京響コーラス
曲目：ヴェルディ：レクイエム

©Yoshinori Kurosawa



入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)